

藤岡市 議会だより



発行日 平成 18 年 11 月 15 日 発行 藤岡市議会 編集 藤岡市議会だより編集委員会 印刷 株式会社エスエイ印刷
藤岡市ホームページ <http://www.city.fujioka.gunma.jp/>

第36号



6,000本の冬桜

9月定例会の あらまし

定例会は、9月6日から9月22日までの17日間の会期で開催されました。

平成17年度藤岡市一般会計歳入歳出決算認定についてなど39議案が提出されました。

6日〃本会議 会期の決定。議案35件を上程、うち21議案を即決。

7日〃教務厚生常任委員会。

12・13日〃決算特別委員会。

19日〃本会議 一般質問。

22日〃本会議 委員会付託議案14件を可決。

市長提出追加議案2件 議員

提出議案2件を即決。

一般質問

湯井 廣志

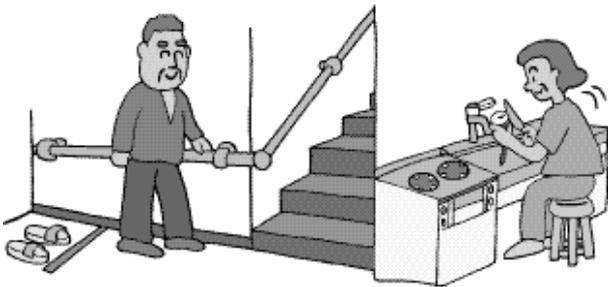
生活保護者対策

について

問 人間は誰もが人の世話にはなりたくない、豊かとはいかなくとも自分の生活は自分で守りたいと念願し、それぞれが努力しているが、幾ら努力しても浮き上がることでできない生活弱者がいることも否定し得ない事実であります。憲法第25条で高い理念をうたいあげ、これを受けて生活保護法第1条で最低限度の生活を保障しているが、それが十分機能しているのか疑問もある。藤岡市の生活保護率は他市に比べて低い、他市に比べて豊かなら何も問題は無いが、藤岡市で真の弱者を捨てたり、見放すようなこと

が行なわれていないのか、実態を伺います。

答 藤岡市では弱者の切り捨てはありません。今後とも国・県の指導に基づき適切な運営を行って参りたいと考えています。



商工業・観光振興対策

について

えるが、伺います。

答 神流湖を中心とした周遊ルートを考え、PRしていききたいと考えます。

問 公共施設に物産品展示コーナーを開設する考えがあるのか、伺います。

答 展示コーナーを増やし、藤岡市の物産品のPRをしていききたいと考えます。

問 商業も観光も収入があつてこそ成り立つ。商業・観光に税金を投入するならば、経済効果を検証しているものと考えます。直接的・間接的経済効果、税収増大、雇用創出の4効果について、伺います。

答 大切な公金を投入するわけですから、議員ご指摘の4つの効果を踏まえ、有効な事業の推進を図って行きたいと考えています。

問 藤岡・鬼石地区の中心商店街をそれぞれ一ヶ所に集め、共同化・大型化して一階を商店に、二階以上を市営住宅にするなどの、新たな商業振興を図る考えはないのか、伺います。

答 検討していききたいと考えます。

問 下久保ダムができて38年経過するが、藤岡市はこの下久保ダムを中心とした観光に切りかえるべきであると考

問 経営不振が続く中小零細企業に、中小企業診断士の出張経営相談とその一部助成を導入する考えはないのか、伺います。



答 自分の会社の経営状態の把握は非常に重要なことです。一部公費負担を検討していききたいと考えます。

木村 喜徳

都市計画について

問 都市計画決定を定める際に、長期的な財政の見通しはどの程度考慮して策定するのか、伺います。

答 施設建設の概算の経費、補助金及び市の単費を算定し、その時の財政状況等を勘案して決定しております。

問 毛野国白石丘陵公園計画の位置づけと今後の見通しについて、伺います。

答 平成13年度作成の緑の基本計画では、公園緑地等の整備目標及び配置方針において、整備推進すべき重要な事業として、この公園は位置づけられています。又、今後の見通しについては、財政状況が厳しい折ですが、地域の皆さんの理解と協力を得ながら、進めて

いきたいと考えております。

問 工業専用地域の中の未造成区域の開発の予定と見通しについて、伺います。

答 中上大塚線第4期事業の進捗状況と連携しながら、平成23年を目途に工業団地として開発、整備に着手していきたいと考えております。



茂木 光雄

都市計画について

問 都市計画道路、北部環状線と森・本郷線の現状と今後の見通しについて、伺います。

答 北部環状線は昭和49年9月に都市計画決定をし、国道254号線の藤武橋付近から鶴川を渡り高崎市まで広域的にアクセスする重要な幹線道路として位置づけられています。全体延長が7080メートルで、現状、市道118号線として総事業費約11億円で事業を進めており、笹川までの間、延長1260メートルについては、現在、進捗率60%で、今後、赤津橋から延長200メートルの区間は供用開始を平成25年度を目標に事業を進めていきたいと思

います。森・本郷線については昭和32年2月に都市

計画決定をし、森地区と本郷地区の国道254号線を結ぶ全延長4370メートルの路線です。藤岡中央高校から小野中学校の間は地元説明会を行い、地権者の事業への理解を得ているが、まだ予算がつきません。今後は北藤岡駅周辺土地区画整理事業の進捗状況に合わせて、順次事業を進めていきたいと思っております。

問 藤岡女子高校の跡地は藤岡市の中心部に8000坪が残ります。第4次藤岡市総合計画を策定するに当り、都市計画の中で跡地将来構想を市民に示す考えはないか、伺います。

答 藤岡女子高校跡地については、群馬県は基本的には売却していく方針であります。藤岡市としては買い取る考えはありません。しかしながら、藤岡女子高

校跡地は駅に近く、歩いて生活必需品がそろうなど便利な魅力ある市街地の貴重な土地であると思っております。藤岡市としては、地域の住民や藤岡女子高校同窓会の声を聞きながら、群馬県との連絡を密にして、藤岡市の将来にとって意義ある有効な跡地活用が図られるよう、群馬県に対して要望していきたいと考えています。

住民基本台帳ネットワークについて

問 藤岡市の現況と住民基本台帳カード普及への取り組みについて、伺います。

答 カード内に記録された住民コードにより住民基本台帳ネットワークでの本人確認に利用でき、施設予約や図書貸出等にも使用できることから、藤岡市として情報連絡会議も始めており活用を検討していきたいと思

隅田川 徳一

市街地の雨水排水対策について

問 今夏は、全国的に豪雨の被害が多く報道され、藤岡市においても芦田町や鷹匠町などでは、毎年、夕立雨でも床下浸水が心配なほど雨水排水の状況が悪いが、その対策はどのようになっているのか伺います。近年の河川整備で、温井川・中川等の下流域の整備が進み、次は藤岡地域中心部の雨水排水対策と考えるが、その方法として藤岡高校跡地等に地下式の調整池などを設置し下流域に流すシステムを作る事は出来ないのか、伺います。又、市長は市民生活の基盤整備はしっかり行くと約束されているが、現在、策定中の第4次藤岡市総合計画にこの建設計画を入れる考えがあるのか、伺います。

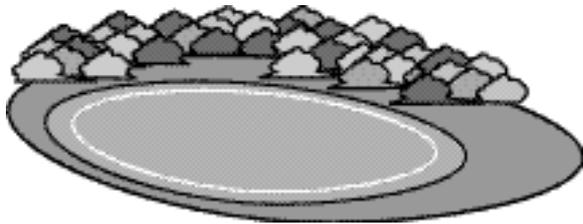
答 現状では、排水路を

市道や県道を越えて建設するのは支障物があり困難であるが、第4次藤岡市総合計画の中で整備を考えたい。また、地下式貯水槽や調整池も一つの方策であり、藤岡高校跡地の整備と合わせて、雨水対策も念頭に入れて考えたい。雨水対策事業は、市民の安全安心な暮らしの為に重要であり、積極的に進めていきたいと思っております。

小・中学校の施設整備について

問 市内の小・中学校は災害時の緊急避難場所に指定されている他、生涯学習の場として高齢者の生き甲斐作り、社会体育として青少年の健全育成や市民の健康増進などにも開放され、多くの市民に利用されていると思うが、夜間対策の設備として水銀灯などの設置状況と今後の整備予定について、伺います。

答 学校施設は日常の児童・生徒の学校生活の安全対策上や地域の防犯拠点としても昼夜を問わず安全で安心な環境が確保される必要があります。照明灯などの設置要望等を確認し、調査をした上、状況に応じて設置を具体的に検討したい。学校は緊急避難場所、スポーツ振興の場所としても重要であり、計画的な整備に努めていきたいと考えております。



教育行政について

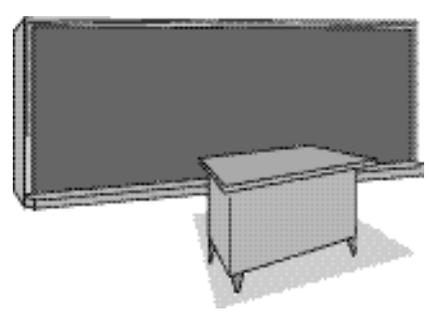
斉藤 千枝子

問 平成19年度から軽度発達障害児を対象者に加えた特別支援教育が、全ての小・中学校で実施されるが、状況と方針を伺います。

答 障害に応じた個別的な支援を始めている。教職員の資質向上など教育環境整備に努め、子供にとってよいと思われる対策をしていく必要があると考えます。

問 不登校児対策として、電子メールや郵便等を利用した在宅学習を取り入れ、訪問指導教員の配置を提案するが、伺います。

答 学習が遅れたり進路選択の妨げにならないよう支援することが重要。研究を進め、適切に対応していきたいと考えております。



問 一般市民が受講できる小・中学校聴講制度の導入を提案します。

答 課題もあり研究を行う必要があると考えます。

問 10年計画で学校施設の耐震診断等や改修を行う予定だが、国庫補助を活用した内装木質化を図るべきと考えますが、伺います。

答 総合的に判断し、検討した上で、各学校に応じた整備を進めていきたいと考えます。

石井竹則

市議会議員選挙の 経費削減について

問 翌日開票や投票日の前日、当日の休日勤務を平日に振り替える等を行う事で、職員手当の削減を図る事ができないか、また、実施した場合の職員手当の削減額について伺います。

答 選挙管理委員会としては、法の趣旨を遵守し即日開票を行っていきたく、尚、本年4月の市長選挙開票事務に要した人件費を参考にしますと、翌日開票の場合、160万円程度の削減が見込まれます。又、投票・開票従事者は選挙事務に精通している市の職員にお願いをして執行している

ので、選挙事務の勤務時間を市の通常事務の勤務時間内に休日として振り替える事は不適切と考えます。尚、

市長選挙投票・開票に要した経費は1300万円です

ので選挙当日の午前8時から午後5時を振り替えた場合は500万円程度が削減されると思います。

問 入場券等の投票案内を個人宛から世帯宛にまとめて通知できないのか、伺います。

答 はがきサイズで世帯ごとに入場券を郵送している事例もあり、今後検討していきたい。

問 選挙事務全般について厳正かつ円滑な管理執行を損なわない範囲で経費の点検を行い、節減に向けて全庁挙げて取り組む考えがあるのか、伺います。

答 選挙事務の職員体制については行財政改革の中での人件費として、その他の職員手当との整合性を図

りながら検討していきたいと考えます。

福祉タクシー利用券 の利用者について

問 点在する山間地において、自宅からバス停まで遠距離であるために、高額なタクシー利用をせざるを得ない自動車等を所有していない高齢者の方に対して、福祉タクシー利用券の交付ができないのか、伺います。

答 藤岡市は三波川地区や日野地区等の山間地を抱えています。高齢者は年々増えるかと思えます。緊急な対策が必要と思いますが、今後、福祉タクシー利用券の助成を含めてあらゆる観点から検討してまいります。



永井孝男

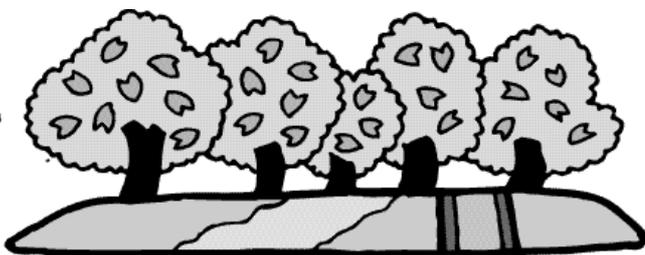
桜山公園について

問 桜山公園が、平成20年に100周年を迎えるに当たり、新市建設計画の実施計画書には、桜山100周年記念事業として、実施年度が、平成18年度から平成20年度と記載されている。しかし、平成18年度予算には計上されていないが、どのようになっているのか、又、桜山100周年記念式典についてどのような形で実施するのか、伺います。

答 新市建設計画の実施計画は合併前に作成したもので、この計画書に記載のない事業は実施できないが、毎年ローリングを行い、現在、来年度予算要求に向けて準備中であります。現在までの進捗状況は関係職員による打ち合わせ、地元の協賛会を交えた会議を開催

協議事項としては公園拡張

のための用地の取得、該当する土地の地権者、面積等の調査を行っております。100周年記念式典は準備が整い次第、実行委員会を立ち上げ検討していき、記念事業としてはモニユメントの作成、記念誌の発行などを考えております。



大戸 敏子

廃校跡地利用

について

問 旧日野西小学校跡地の現況利用と、昆虫館が立上らない理由。又、旧日野中央小学校と旧南中学校跡地の現況利用と今後の活用について伺いたい。

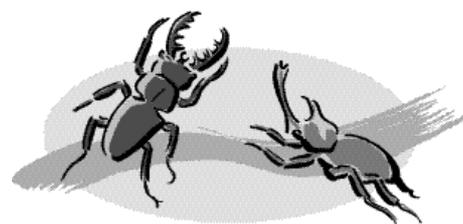
庫として利用、今後は地域の歴史文化ゾーンとして幅広く意見を聞いて活用を図りたい。

問 旧南中学校跡地は今年度より有坂中央学園に10年間、年額約46万円で貸付、10年後は特別なことがなければ引続き貸していきたい。

問 昆虫館は予算と人材が整ったら具体化を。又、今後の活用について伺いたい。

答 西別館は自然を生かし、森林、昆虫体験など踏まえて活用を図っていく。

東別館は別棟を藤岡土器・埴輪友の会に一部を貸し、本館・体育館は市の倉



青柳 正敏

藤岡高校跡地取得

について

問 群馬県教育委員会は、藤岡市に提示した6項目の協議事項の成立を見ずして、新地高校建設に着手したという事は群馬県が藤岡市に提示した「藤岡地区新高校整備について」は既に無効と思うが、何故、協定書を作成しないのか、伺います。

定書を作成し文書化すると、新高校建設費と藤岡高校跡地の売却が連動しているのは、地方財政法に抵触する欠陥文書と思うが、用地買収費及び造成費について、どのように合意されているのか、伺います。

答 跡地を取得する訳であり地方財政法に抵触しないと考えています。買い取り金額等具体的な事項について群馬県と協議、交渉しています。

答 協定書の締結の約束があっても、双方が合意すれば協定書の締結をする必要はないと考えております。双方で文書をもって定める必要がある場合には、文書を取り交わす考えであり、合意によって、協定書を作成しない事も含まれていると考えます。

問 「藤岡地区新高校整備について」を基本に協議し協



市議会を傍聴しよう

議会は3・6・9・12月の定例会と随時の臨時会が開かれます。傍聴希望者は、本会議の当日に、市役所2階議会事務局前の傍聴人受付へ来て下さい。住所・氏名を傍聴人受付簿に記入し、番号札を持って入場します。

問い合わせは市議会事務局 (☎②1 2 1 1 内線 2 3 6 1) へ

◎掲載してある一般質問は要約してありますので、詳しくは藤岡市のホームページや図書館・市役所相談室で会議録(12月上旬公開予定)をご覧ください。

経済建設常任委員会所管調査

藤岡市と旧鬼石町が合併し、12名の委員会構成となつて、初めての経済建設常任委員会所管調査を平成18年2月23日に行ないました。

高山地区の農産物加工処理施設と浄法寺地区の群馬県中央素材流通センターの2ヶ所についての調査結果を以下のとおり報告いたします。

(1) 農産物処理加工施設について

中山間地域の活性化を図るために、平成17年4月に新山村振興等農林漁業特別対策事業を活用して、高山地区の桐山に農産物処理加工所を開設したものである。農林課吉田課長、並びに地元の小

暮雄二区長代理から当該

施設の概要と運営状況について説明を受けました。

実際におやき、味噌おでん、大根の酢漬け等、地元産の素材で作った製品を試食させていただきました。

各委員もその味の良さに感心させられました。加工品は主に、ららん藤岡

やみはらし茶屋へ搬入して販売しているが、当初見込みの売上額に至らず、

今後は、J Aやその他の施設にも販路を拡大していきたいとのことであった。

(2) 群馬県中央素材流通センターについて

旧鬼石町は、古くから木材を首都圏に送り出す集積地として群馬の「木

場」と言われたほどの、林業の盛んな土地であったが、近年、国産材が海外からの安い輸入材に押され消費が減少しているため、群馬県の「しんりんアクションプラン21」の計画のもと、よい木材を安く大量に供給する施設が浄法寺地区に開設されたものである。原木市場が最初オープンし、現在は、製材加工施設が急ピッチで建設中である。

日本の林業を取り巻く状況が、需要の低迷に加え、低コストで良質な木材の供給を求められることから、大変厳しいものであるとの説明が、当センター

武井二郎理事からあった。今回の2ヶ所の所管調査において、本市をと

りまく農林事業の厳しい経営環境をつぶさに研修することができ大変勉強になりました。

以上、経済建設常任委員会所管調査報告といたします。

委員 委員長

副委員長

委員

茂木 光雄

清水 保三

山田 朱美

永井 孝男

反町 清

神田 省明

青柳 正敏



吉田 達哉
隅田 徳一
塩原 吉三
平野 元久
櫻井 利雄
青柳 正敏
神田 省明
反町 清
永井 孝男
山田 朱美
清水 保三
茂木 光雄

議案等審議結果(9月定例会)

番 号	件 名	結 果
市長提出議案		
報告 19 号	専決処分の承認を求めることについて(平成18年度藤岡市老人保健事業特別会計補正予算第1号)	承認(全員一致)
諮問 1 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なし(全員一致)
諮問 2 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なし(全員一致)
第 85 号	教育委員会委員の任命について	同意(多数)
第 86 号	固定資産評価員の選任について	同意(全員一致)
第 87 号	藤岡市国民健康保険条例の一部改正について	可決(全員一致)
第 88 号	藤岡市福祉医療費支給に関する条例の一部改正について	可決(全員一致)
第 89 号	藤岡市地域生活支援事業に係る利用者負担に関する条例の制定について	可決(多数)
第 90 号	藤岡市小口資金融資促進条例の一部改正について	可決(全員一致)
第 91 号	藤岡市中小企業設備近代化資金融資促進条例の一部改正について	可決(全員一致)
第 92 号	藤岡、吉井環境衛生事務組合の解散に関する協議について	可決(全員一致)
第 93 号	藤岡、吉井環境衛生事務組合の解散に伴う財産処分に関する協議について	可決(全員一致)
第 94 号	藤岡、吉井環境衛生事務組合の解散に伴う事務承継に関する協議について	可決(全員一致)
第 95 号	多野藤岡広域市町村圏振興整備組合の規約変更に関する協議について	可決(全員一致)
第 96 号	群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について	可決(全員一致)
第 97 号	工事請負契約の締結について	可決(多数)
第 98 号	土地の取得について	可決(全員一致)
第 99 号	市道路線の廃止について	可決(全員一致)
第 100 号	市道路線の認定について	可決(全員一致)
第 101 号	平成18年度藤岡市一般会計補正予算(第2号)	可決(多数)
第 102 号	平成18年度藤岡市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)	可決(多数)
第 103 号	平成18年度藤岡市老人保健事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全員一致)
第 104 号	平成18年度藤岡市介護保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)	可決(全員一致)
第 105 号	平成18年度藤岡市簡易水道事業等特別会計補正予算(第1号)	可決(全員一致)
第 106 号	平成18年度藤岡市水道事業会計補正予算(第1号)	可決(全員一致)
第 107 号	平成17年度藤岡市一般会計歳入歳出決算認定について	認定(多数)
第 108 号	平成17年度藤岡市国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について	認定(多数)
第 109 号	平成17年度藤岡市老人保健事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定(全員一致)
第 110 号	平成17年度藤岡市介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について	認定(多数)
第 111 号	平成17年度藤岡市介護老人保健施設特別会計歳入歳出決算認定について	認定(全員一致)
第 112 号	平成17年度藤岡市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定(全員一致)
第 113 号	平成17年度藤岡市学校給食センター事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定(全員一致)
第 114 号	平成17年度藤岡市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定(全員一致)
第 115 号	平成17年度藤岡市特定地域生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定(全員一致)
第 116 号	平成17年度藤岡市簡易水道事業等特別会計歳入歳出決算認定について	認定(全員一致)
第 117 号	平成17年度藤岡市三波川財産区特別会計歳入歳出決算認定について	認定(全員一致)
第 118 号	平成17年度藤岡市水道事業会計決算認定について	認定(全員一致)
第 119 号	平成17年度藤岡市国民健康保険鬼石病院事業会計決算認定について	認定(全員一致)
第 120 号	助役の選任について	同意(多数)
第 121 号	藤岡市国民健康保険鬼石病院使用料手数料条例の一部改正について	可決(多数)
議員提出議案		
第 2 号	藤岡市議会会議規則の一部改正について	可決(全員一致)
第 3 号	藤岡市議会の議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	否決(可否同数)



山々の木々が色づき、朝、夕、風が肌寒く感じる季節となりました。
今年も、12月1日、三波川桜山公園で、桜山まつりが開催されます。
7千本の満開の冬桜を見ながらの、藤岡市観光大使「湯原昌幸」さんの歌謡ショー。また、先着約1,000名様にあつあつの鬼石名物「とちやなげ汁」のサービス等もあります。「ご家族そろって出かけてみてはいかがでしょうか。」

今回、9月定例会市議会は、平成17年度一般会計の決算認定をはじめ、各議案の議決を行い、一般質問では、9名の議員から生活保護、都市計画、雨水排水、教育、福祉、議員選挙、藤岡高校、小学校・中学校廃校跡地利用、桜山公園等、広範囲にわたる質問を行いました。

今年も残すところあと2カ月、編集委員会では、今後、議会活動がよりわかり易く身近に感じられるよう市議会だよりの一層の充実を努めてまいります。

委員長 冬木 俊
副委員長 湯井 一
委員 岩井 廣
阿部 孝
永野 行
佐藤 千枝子
坂本 淳
清水 三幸